

特定非営利活動法人「布紗」が運営する施設「てらす」と「さろん」の楽しい日常の様子を皆さんにお届けします。

木漏れ日に感謝

なかま達が過ごす日だまりには、
ときおり皆様からのあたたかい
木漏れ日が降り注ぎます。

特別編

「てらすで、マグロの解体ショーやらない？」
「はっ。」

というトンチンカンな会話が交わされてから、なんとなく準備が進められ、日程も2月18日の日曜日に決まりました。

事の発端は、長年、ビューティフルサタデーと称して(勝手命名したのですが)お肌のマッサージとメイクをしてもらっている、ノエビア化粧品店の佐藤さんからのお話でした。

彼女のいとこで和食のお店を経営されている方が、大きなイベントでマグロの解体ショーなども頼まれてやっているので、それをてらすでやったら、みんな喜ぶんじゃないかと思っただけのこと。

目の前でさばいたマグロを、その場で食べられる機会なんてめったにない...というか、まずお刺身を厚食に出すこと自体ないことなので、当日はみんなわくわく。

23キロのマグロを囲んで、まさしくショーです。サーモンも仕入れてきていただき、たくさん



の卵も差し入れてもらい、マグロたっぷりの海鮮丼を、事前にくじ引きで決めた順番で、用意できた順に食べることにしました。



スタッフを含め50用意されたマグロは無事みんなのおなかに収まり、おかわりもできたのでした。

その後も、マグロの骨をスプーンで掻いて(この辺ではかっちゃ

くと言います)食べさせてもらったり、皮を茹でて千切りにしてポン

酢で食べたり、血合いを炒めて塩コショウしたもの、最後はシーチキンのようにして食べたり...とマグロを堪能した一日でした。



泉駅の近くで、「酒縁てる」を経営されている箱崎さんご夫妻と、日曜日にも関わらず、気持ちよく助っ人としてみごとな包丁さばきを披露してくださいました。仲買の山常水産の鈴木さん、そして話をつないでくれた佐藤幸子さん、きびきびと手伝いまでしてくれた佐藤幸子さん、皆さんのおかげでてらすは満腹になりました!



てらすな日々

お土産

先日、以前てらすを利用していただいたHさんがご両親と「旅行にいったから」とお土産を持って来てくれました。

Hさんは主に土曜、日曜の利用をしていたのですが、急に施設入所が決まり、てらすを卒業しました。

「あれからもう一年経つんですよ」と

お母さんが話をしていました。

おそらくご両親は玄関でお土産を渡して帰ろうと思っていたのだと思います。

でもHさんは一年前のように

何の躊躇もなく中に入ってきて

「今日は何をやるの? ゲーム? カラオケ?」

とスタッフに聞き

大好きな利用者さんの名を呼び

その方と満面の笑みで再会し

何の違和感もなく

その日のてらすに溶け込んだのです。

その日の利用者さんたちも

「Hさん」と温かく迎えていました。

しばらくしてお父さんが中まで迎えにきて

Hさんは帰って行きました。

Hさんにとっててらすで過ごした時間がどうだったのかを聞くことは出来ませんが、その日のその瞬間で伝わってくるものがありました。

Hさん、お土産ありがとうございました!!
また会いましょう!!

スタッフ 太田直子